

## 病院の沿革

昭和 年 月

- 46 . 11 市議会において市民病院の建設問題が議題となる
- 47 . 3 市議会において再び、市民病院の建設問題が議題となる
- 47 . 12 市議会において市理事者から関係審議会を設置して調査することを表明
- 48 . 3 本市総合医療対策審議会設置条例制定
- 48 . 6 当該審議会開催（委員構成15名、会長：関 悌四郎 大阪大学医学部名誉教授）
  - 諮問事項 1) 市民医療総合施設（市立病院の設置）について
  - 2) 救急医療体制について
- 48 . 12 当該審議会より中間答申を受ける
- 49 . 3 市民医療総合施設建設基金条例制定  
市議会に市民病院建設特別委員会設置（委員構成10名）
- 49 . 4 市民医療総合施設対策室設置
- 50 . 3 総合医療施設建設予定地を本市芝地内に選定し、土地区画整理事業を実施し、  
その中で建設用地を確保することに決定
- 51 . 6 第17回当該審議会において最終答申を受ける
- 51 . 7 庁内で、市民医療総合施設整備促進対策委員会を設置（委員構成7名）
- 52 . 2 地方自治法第174条に基づき、本市立病院等建設専門委員を設置（委員6名）
- 52 . 6 建設計画（昭和56年度開院）及び医療従事者の確保（大阪大学系）について  
市議会の了承を得る（全員協議会）
- 52 . 10 市民医療総合施設対策室を市立病院建設事務局に、市民医療総合施設整備促進対策委員会を市立病院等開設準備委員会に、それぞれ改組
- 52 . 11 大阪大学医学部より院長予定者として、元府立成人病センター副所長  
乾 久朗氏の推薦を受ける
- 52 . 12 前記 乾 久朗氏を本市非常勤嘱託に委嘱する  
看護婦確保対策班を設置し、養成施設訪問を開始（九州・中国・四国地方の  
89校を訪問）
- 53 . 1 市立病院等建設対策本部を設置（本部長：市長、市立病院等開設準備委員会  
を改組）  
本市立総合医療施設設置基本計画の策定のため、新医療施設整備調査会  
（大阪大学医学部内）に委託
- 53 . 3 市議会に市立病院建設特別委員会設置（委員構成11名）  
新医療施設整備調査会より、本市立総合医療施設設置基本計画の報告を受ける
- 53 . 5 市立病院建設基本計画を策定、市議会の了承を得る
- 53 . 8 市立病院建設基本・実施設計に着手（株式会社双星設計と設計委託契約を締結）
- 53 . 9 地方自治法第174条に基づき、本市立病院建設設計調査専門委員を設置
- 54 . 3 市立病院建設基本設計が完了、市議会の了承を得る

昭和 年 月

- 54 . 4 特別会計病院建設事業費設置
- 54 . 8 市立病院建設実施設計が完了、市議会の了承を得る
- 54 . 9 市立病院建設工事請負契約を締結  
本体工事：(株)竹中工務店  
電気設備工事：太陽工藤工事(株)  
空気調和設備工事：新菱冷熱工業(株)  
給排水衛生ガス設備工事：川崎設備工業(株)  
昇降機設備工事：日本オーチスエレベーター(株)  
搬送設備工事：日本エアシューター(株)
- 54 . 10 看護婦宿舎設計に着手（株式会社双星設計と委託契約を締結）  
市立病院建設工事着工式典を挙げる
- 55 . 3 看護婦宿舎設計が完了、工事請負契約を締結（竹中工務店、太陽工藤工事、川崎設備工業）
- 55 . 4 院長予定者、副院長予定者をはじめ主要医療スタッフ等を採用、事務局を強化
- 56 . 3 看護婦宿舎竣工、入居開始
- 56 . 4 箕面市立病院の開設が許可される 病院本館竣工、引渡しを受ける  
病院本館竣工、引渡しを受ける  
箕面市病院事業設置条例施行、公営企業会計を適用、病院長以下の職員を配置
- 56 . 5 病院長 乾 久朗氏 逝去
- 56 . 6 病院長に田村 宏氏 就任 医師住宅竣工  
開院式典を挙げる（26日）
- 56 . 7 診療開始（7日）  
（診療科） 内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科  
産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科  
（病床数） 一般200床、伝病10床、計210床
- 57 . 5 5階東病棟開始、一般病床50床増加（一般250床、伝病10床、計260床）
- 59 . 5 5階西病棟開始、一般病床50床増加（一般300床、伝病10床、計310床）
- 60 . 4 麻酔科設置
- 60 . 11 安定した生きがいのあるまちづくりを基本理念として「第三次箕面市総合計画」策定
- 61 . 4 「第三次箕面市総合計画」に基づき保健福祉施策の拡大充実
- 61 . 7 箕面市行政機構改革により健康福祉部（医療・保健・福祉行政の一元化）を組織
- 63 . 3 病院長 田村 宏氏 退任  
箕面市福祉計画を2年に亘って計画策定委員会（大阪府池田保健所箕面支所長を中心とした関係機関・団体及び市行政関係者）で検討

昭和 年 月

- 63 . 4 田村 宏氏 名誉院長就任  
病院長 青木行俊氏 就任  
健康福祉部に地域保健室を設置
- 63 . 11 大阪大学医学部公衆衛生学教室 多田羅浩三教授の協力のもと「箕面市保健福祉総合施策推進研究会議」～将来にわたる「在宅ケア総合推進」のあり方に関する学術的調査・研究～を開催（平成元年3月まで）  
研究会議（4回）、ワーキンググループ会議（8回）

平成 年 月

- 元 . 3 上記の関連研究結果が「明日にはばたくライフプラザ計画」にまとめられ市長に提示  
「ライフプラザ計画」を基礎にして、在宅福祉のあり方に関する調査・研究を「箕面市在宅福祉研究会議」にて実施
- 2 . 3 「箕面市における在宅福祉サービスのあり方に関連する調査・研究」を、「箕面市ライフケア計画」として市長に提示  
市議会に「保健福祉総合施設建設特別委員会」設置  
第1期工事としてリハビリテーションセンター・老人保健施設・総合保健センターの建設承認を得る  
市立病院にリハビリテーションセンター設立準備小委員会発足
- 3 . 7 開院10周年記念式典を挙（13日）
- 4 . 3 病院長 青木行俊氏 退任
- 4 . 4 病院長 下辻常介氏 就任
- 4 . 12 大阪府医療審議会において特定病床の増床認可
- 5 . 4 土曜日休診実施  
救急診療部、地域医療室設置
- 5 . 7 予約診療制施行
- 6 . 1 （仮称）リハビリテーションセンター棟新築工事着工
- 6 . 4 予約診療開始
- 7 . 4 精神科設置
- 7 . 5 病院事務局と保健福祉総合施設建設室協議（リハビリテーションセンター認識、開設準備について）  
リハビリテーションセンター運営に関する小委員会発足
- 7 . 10 病院構造設備使用許可（リハビリテーション部）  
リハビリテーションセンター地下1階・1階・2階部分仮使用開始  
既設市立病院地下1階にある「リハビリテーション部」をセンター1階に移設
- 8 . 3 リハビリテーションセンター竣工

平成 年 月

- 8 . 4 病院構造設備使用許可（早期療育関係諸室）  
「早期療育部門」使用開始
- 8 . 6 神経内科設置
- 8 . 7 形成外科、理学診療科設置  
3階南病棟開始、一般病床50床増加（一般350床、伝病10床 計360床）  
リハビリテーションセンター開設
- 8 . 7 病院構造設備使用許可（理学診療科及び関係諸室）  
保険医療機関指定  
理学療法の格上げ承認及び作業療法の新設承認  
集中治療室開始、一般病床6床を病棟から移動（同上）  
救急処置室改修  
開院15周年記念式典を挙（7日）
- 9 . 1 理学診療科をリハビリテーション科に名称変更
- 9 . 3 駐車場改修  
病院長 下辻常介氏 退任
- 9 . 4 病院長 岩崎雅行氏 就任  
駐車場有料化
- 9 . 7 箕面市の機構改革に伴い係制廃止（給食係、地域連絡係、医療相談係、総務係、  
管理係、外来係、入院係）
- 10 . 2 箕面市立病院基本理念制定
- 11 . 4 伝染病棟の廃止 病床10床減（一般350床）
- 12 . 3 病院長 岩崎雅行氏 退任
- 12 . 4 病院長 岩田吉一氏 就任  
訪問リハビリテーション事業開始
- 13 . 4 院外処方箋全面切替  
「第四次箕面市総合計画」に基づき健康づくりと地域医療を充実
- 13 . 5 市立病院ホームページ開設
- 13 . 6 初診料加算金導入
- 13 . 7 開院20周年記念式典を挙（6日）
- 14 . 2 オーダエントリーシステム導入
- 14 . 3 病院長 岩田吉一氏 退任
- 14 . 4 病院長 吉川宣輝氏 就任  
職員全体会開催（以降、毎月末に開催）
- 14 . 10 電子カルテ導入
- 15 . 2 外来診察の予約制開始、外来中待ち合いの廃止  
点滴センター設置

平成 年 月

- 15 . 7 再診料加算金制度導入
- 15 . 8 財団法人 日本医療機能評価機構の認定病院となる
- 15 . 11 開放病床 (5床) 認可
- 15 . 12 日帰り手術センター設置  
歯科設置 (診療日 : 日曜、祝日、12月29日~1月3日)
- 16 . 3 箕面市立病院経営健全化計画策定
- 16 . 4 内科一次救急の休日診療開始  
小児科二次救急の輪番制開始
- 10 女性専用外来開設
- 17 . 1 市立病院改修工事着工
- 17 . 4 I C U改修工事着工 (350床中13床休止)  
仮分娩室等設置工事 (350床中21床休止)
- 17 . 6 I C U稼働  
3階西、4階西、5階西病棟改修工事着工 (350床中145床休止)
- 17 . 8 3階西、4階西、5階西病棟稼働  
P E T - C T ( X線 C T組み合わせ型ポジトロン C T装置) 検査開始
- 17 . 9 3階東、4階東、5階東病棟改修工事着工 (350床中122床休止)
- 17 . 12 3階東病棟稼働 (317床中89床休止)
- 18 . 2 4階東病棟稼働 (317床中44床休止)  
E R (救急総合診療部) 稼働  
救急診療部から救急総合診療部に名称変更
- 18 . 3 市立病院改修工事竣工
- 18 . 4 5階東病棟稼働  
D P C (診断群分類別包括評価)による入院医療費の算定開始  
院外処方せんのジェネリック医薬品への変更可の運用開始
- 18 . 7 開院25周年・リニューアルオープン記念コンサート開催
- 19 . 3 病院長 吉川宣輝氏 退任
- 19 . 4 病院長 豊島博行氏 就任  
敷地内禁煙の実施
- 19 . 6 院内保育室の設置
- 19 . 6 7対1入院基本料の算定
- 19 . 12 クレジットカードによる診療費の収納開始
- 20 . 4 内視鏡センター設置  
リストバンド(患者識別票)の導入
- 20 . 5 遠隔読影の導入
- 20 . 8 財団法人 日本医療機能評価機構の認定を更新 (Ver. 5.0)
- 21 . 1 産科医療補償制度の加入  
英語通訳ボランティアの導入

平成 年 月

- 21. 3 箕面市立病院改革プランの策定  
病院長 豊島博行氏 退任
- 21. 4 病院長 田村信司氏 就任
- 21. 5 総務省と地域ICT利活用モデル事業の委託契約を締結  
新型インフルエンザ発熱外来及び特設外来を臨時的に設置
- 21. 6 地方公営企業法を全部適用  
病院事業管理者 重松 剛氏 就任  
総長 田村信司氏 就任  
病院長 黒川英司氏 就任  
病院組織の改編（医療技術局、チーム医療推進室、総合診療科、臨床工学部、臨床研究推進部を設置）
- 21. 7 糖尿病センターを設置
- 21. 9 コンビニエンスストアでの診療費の収納代行業務を開始
- 21. 10 看護師の二交代勤務の実施（5階西病棟から。順次拡大）
- 21. 11 登録医意見交換会を初開催
- 21. 12 鏡視下（内視鏡）手術室を設置
- 22. 3 大阪府がん診療拠点病院に指定（期間：22年4月1日～26年3月31日）
- 22. 4 がん診療推進部を設置
- 22. 7 改革プラン評価委員会・地域医療支援委員会を初開催
- 22. 9 箕面コミュニティバス「オレンジゆずるバス」市立病院乗り入れ開始
- 22. 11 地域医療支援病院の承認
- 22. 12 駐車場の利用料金を改定  
駐車場について行政財産の貸付けの手法により民間事業者による運営を開始
- 23. 4 箕面市立病院の料金等に関する規程を制定し、料金規定を条例から規程に変更  
「第五次箕面市総合計画」に基づき健康づくりと地域医療を充実
- 23. 7 開院30周年記念式典・祝賀会を挙（7日）
- 23. 11 院内保育室で病児保育開始
- 24. 3 看護師寮を廃止（近隣の集合住宅の借り上げにより確保）
- 24. 4 消化器内科、消化器外科を設置  
回復期リハビリテーション病棟において365日のリハビリテーションを開始
- 24. 7 産科入院患者を対象としたボランティアによるお点前を開始
- 24. 10 J A大阪北部と連携し患者食の地産地消を推進
- 25. 1 患者食に完全無農薬米を採用
- 25. 4 急性期病棟において365日のリハビリテーションを開始
- 25. 8 公益財団法人 日本医療機能評価機構の認定を更新（主たる機能：一般病院2）
- 25. 12 MR I 装置（磁気共鳴画像診断装置）を増設  
がんサロン「ゆず」開始